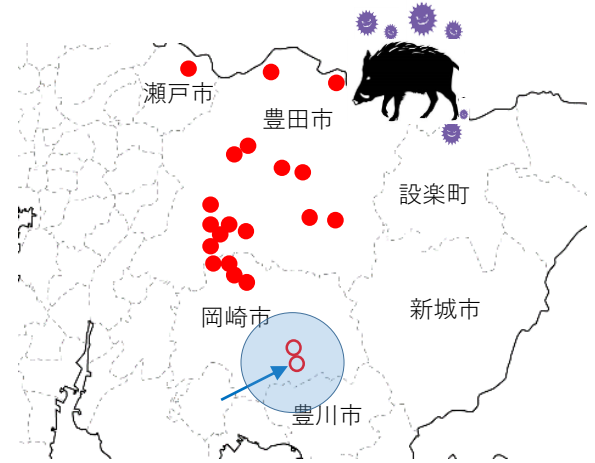


愛知県内の野生イノシシで豚熱陽性が続いています！ (令和3年10月以降、累計21頭)

豊田市から岡崎市にかけて野生イノシシで相次いで豚熱が確認されています。11月6日の岡崎市で捕獲された野生イノシシの陽性事例では豊川市が10km圏内に入っており、東三河地域に近づいてきています。山間部はウイルスで汚染されているという意識で慎重な行動を！

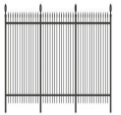
また、近隣県でも野生イノシシの豚熱陽性が続いています。一般車両の通行等によりイノシシ陽性地域の周辺道路も汚染されていますので、農場に出入りする全ての車両の消毒を徹底してください。

参考URL:<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/nogyo-shinko/kensa.html>



1 野生動物を侵入させないように防護柵・防鳥ネットの破損確認・修繕

- ①野生動物誘因防止（こぼれ餌の除去、死体の適正管理）
- ②小動物が通り抜けられる豚舎の隙間等を塞いでください
- ③堆肥舎にも野生動物が寄ってくるので、ネット等の設置により隙間がないことを確認してください
- ④小動物の隠れ場所をなくすため、豚舎周りの草刈り、整理整頓



2 農場・豚舎に出入りする人及び車両の消毒の徹底

- ①畜舎内専用長靴への履き替え
- ②専用作業着への着替え
- ③畜舎へ入る前の手指消毒
- ④車両消毒（車両下部、靴底が触れる部分は重点的に。気温が下がると環境に落ちたウイルスが長く生存します。消毒薬の濃度にも注意してください。）



3 舎内に入れる物品の消毒の徹底

4 豚を移動させる際は、リフトの使用や屋根付き豚舎間通路の利用を。やむなく地面を歩かせる場合は、直前消毒を忘れずに！

5 子豚への豚熱ワクチンは35日齢までに必ず接種してください。

🧠母豚の豚熱ワクチン中和抗体価が極めて低い農場が増加中🧠
→母豚の抗体価が低く、20日齢までに移行抗体が切れる農場が多くなっています。
また、候補豚へは初回接種から6か月後の追加接種を忘れずに実施してください！